

世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業

日本

事業の目的

- 日本と対象地域との「共生」に資すること
- 人文・社会科学研究の新たな展開と発展に資すること

地域

(中東・東南アジア)

(1) 関係性

研究領域1 日本と諸地域との関係性の解明

—協働に向けて—

目的：協働

日本と諸地域との関係性を解明することにより、他者を通じて日本・日本人が自己理解を深め、日本と諸地域との協働関係の構築に資する。

【研究課題の例】

- 日本・日本人観をテーマとするもの
- 日本の社会システムと地域の社会システムとの比較をテーマとするもの

【キーワード】

・日本観 ・交流史 ・日本企業 ・異文化理解 ・経済協力 ・文化伝播

(2) 固有性

研究領域2 地域のアイデンティティーの解明

—相互理解を深めるために—

目的：相互理解

地域のアイデンティティー（固有性）を解明し、日本と諸地域との相互理解を深めることに資する。

【研究課題の例】

- 東南アジアにおけるイスラームをテーマとするもの
- 地域の人々の価値観をテーマとするもの
- グローバリゼーションに伴う社会の変容をテーマとするもの
- 経済発展の潜在的能力をテーマとするもの

【キーワード】

・宗教 ・社会制度 ・人間観 ・慣習 ・工業化 ・都市化 ・文化

研究対象地域

- 中東： アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、エジプト、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、トルコ、バーレーン、パレスチナ、ヨルダン、レバノン
- 東南アジア： インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス